
GFP加工食品部会 イベント参加後の状況・取組についてのアンケート

アンケート調査概要

加工食品事業者の輸出拡大取組等の推進に必要な支援策を検討するためアンケートを行い、194件の回答を得た。

実施目的

- 加工食品事業者へのアンケートを行い、GFP加工食品部会に参加いただいた後の状況や取組について把握し、課題認識や課題解決に必要な支援を把握する
- 把握した情報を基に、今後のGFP加工食品部会の取組の検討に活用する

実施時期

- 2023年7月4日～7月24日

実施方法

- 加工食品部会事務局であるアクセンチュアから、各事業者へ直接または都道府県組合を通して、Googleフォーム形式のアンケートURLをEメールで発信し、集計

対象者

- 1,460件（輸出産地登録事業者・過去分科会参加者・過去分科会協力者等）

回答者数

- 194件（回答率：13.0%）

調査内容

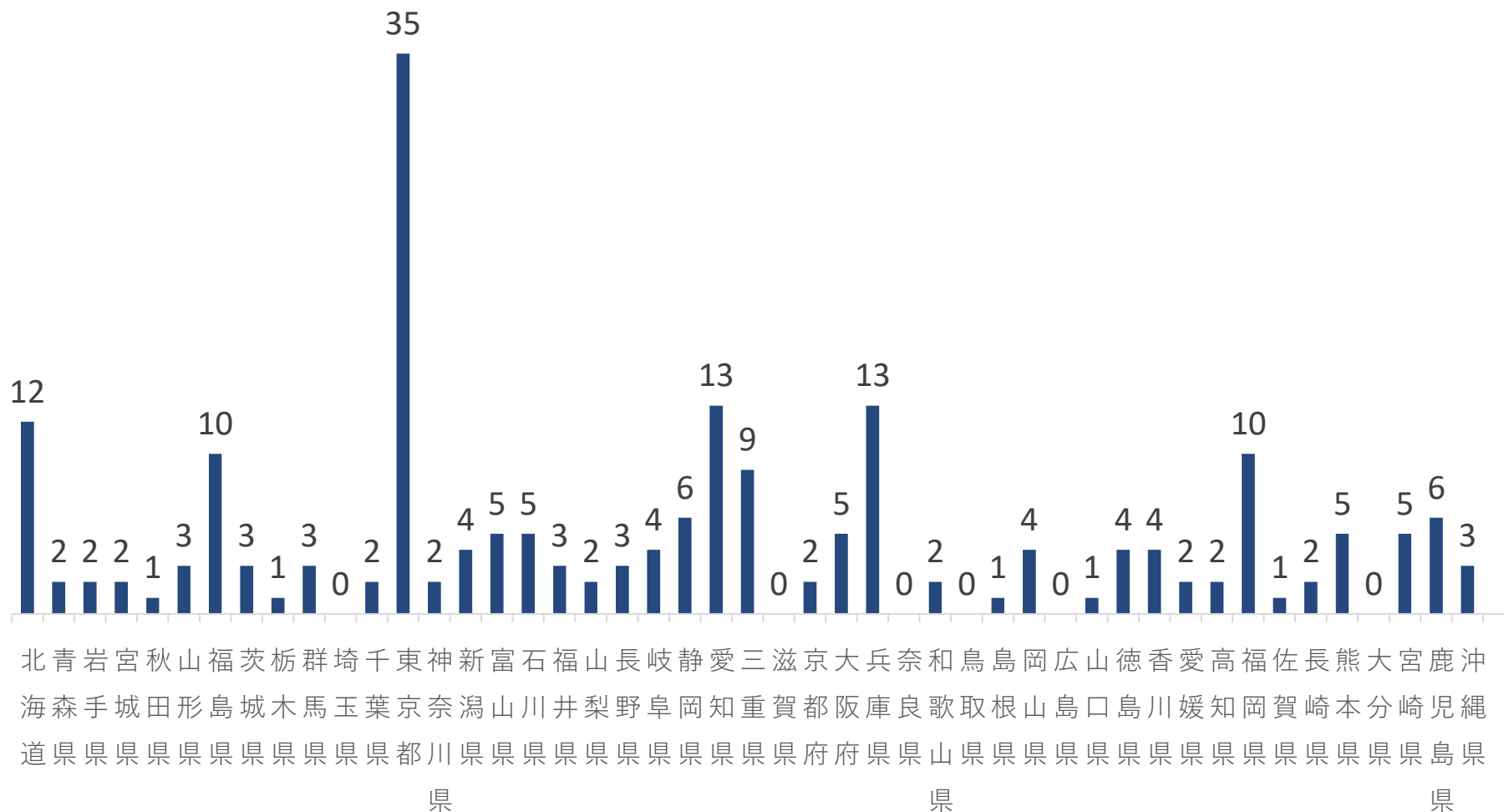
- GFP加工食品部会参加後の状況・取組について

エグゼクティブサマリ

- 回答者のうち、これまでGFP加工食品部会のイベントに参加した事業者の属性として**加工食品メーカーが139社と全体の72%**を占める結果となった。次いで**商社が25社**と続く
- 参加者が扱う商品としては、**菓子、その他調味料、冷凍食品が45社を超えており、醤油、味噌、麺類、酒類、水産加工品を扱い事業者が30社を超える結果となった**
 - 重点5品目の事業者はその他の商品を扱う事業者よりも多い傾向
- **現在の輸出課題として海外市場のニーズ把握（113社）や添加物（71社）・賞味期限対応（54社）に課題を抱えている加工食品メーカー・団体が多い**
 - その他、**包材規制への対応では（47社）の回答があり、食品表示対応について課題を抱えている事業者は（57社）**の回答が集まったため、**ニーズに合った商品の開発・提案の他にも、商品のパッケージや輸送方法**など様々な課題を抱えている事業者が存在する
- 添加物課題について、着色料を最大の課題とする事業者が過半数、その他は調味料・香料・甘味料が多い
 - 着色料については約65%が対応を実施しているが、その他添加物については約半数の事業者が規制に対応できていないため、2024年1月に乳化剤・調味料・甘味料について追加した添加物早見表を周知しつつ、香料等の規制情報の更なる充足を図る必要がある
- 今後GFP加工食品部会で扱ってほしいテーマについて、アンケート結果を踏まえると、これまで実施してきた海外ニーズや添加物・賞味期限等の各国の規制情報に加えて、**包装デザインやアレルギーの管理情報、食品表示、物流課題、海外各国の輸出戦略**等幅広いニーズを、次年度以降の取組へ反映させることが求められる

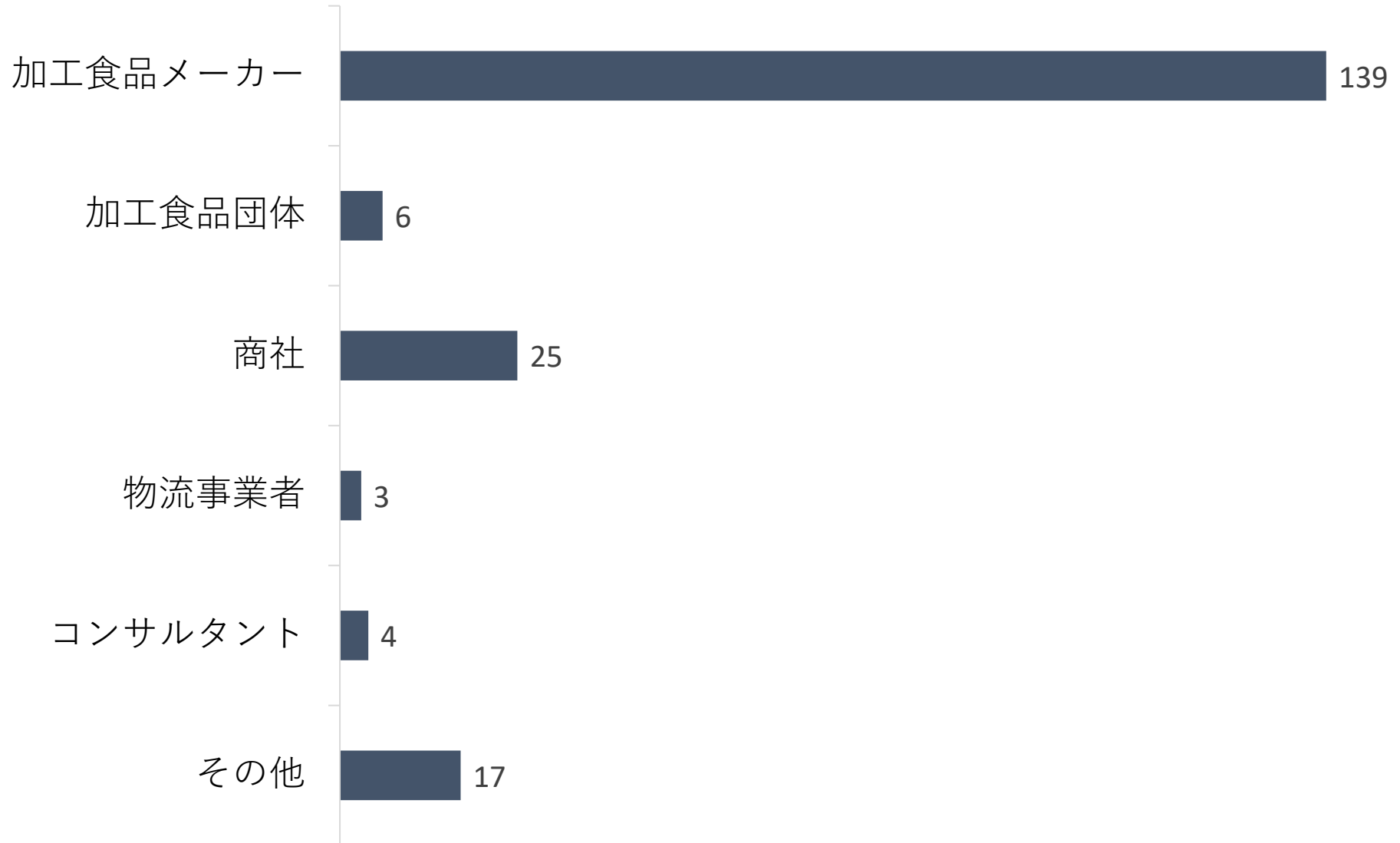
回答者属性 所在地

東京に所在する事業者が突出して多く、北海道、愛知、兵庫が12事業者を超え、その他道府県、各地方にまんべんなく分布している。



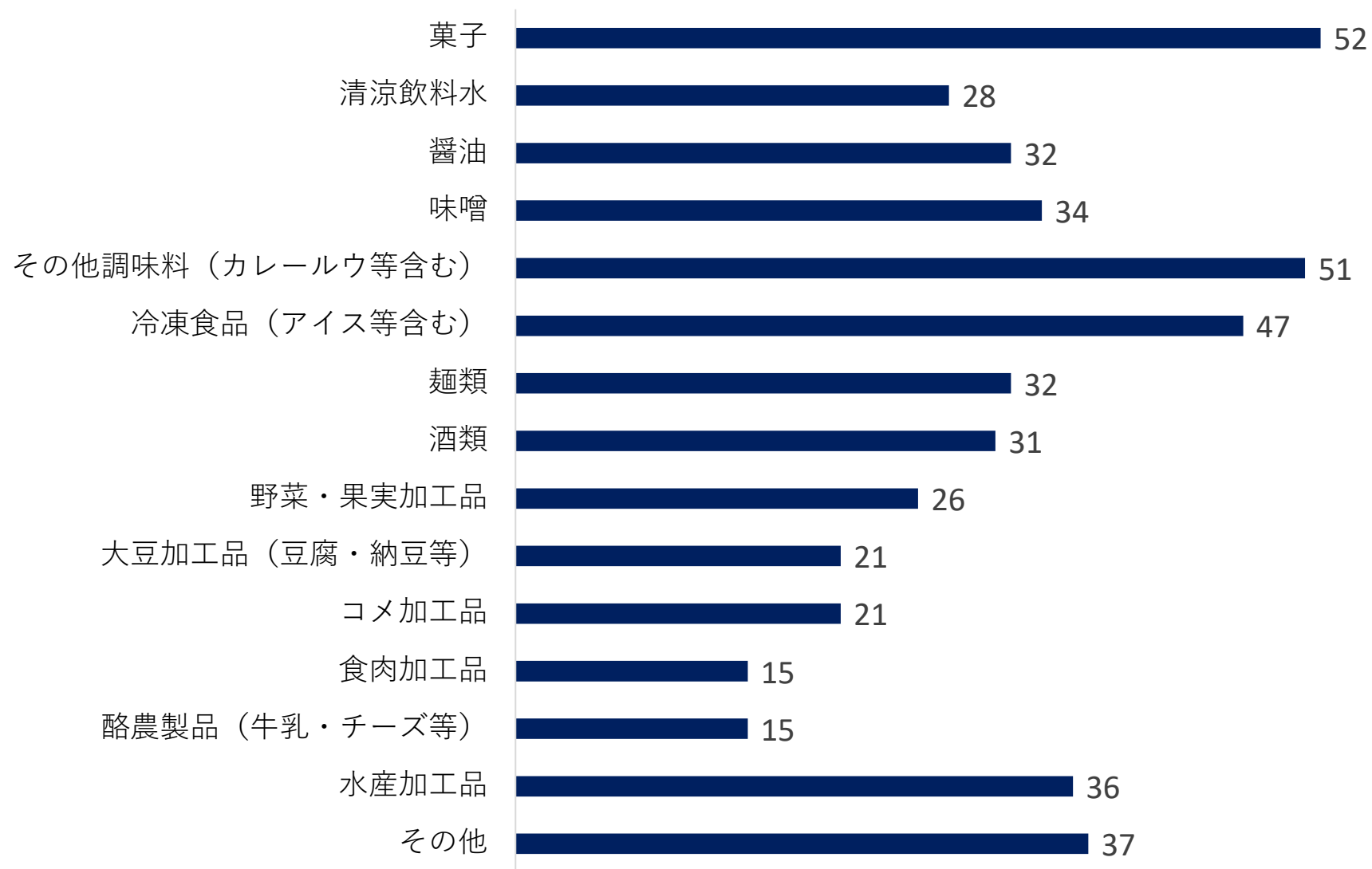
回答者属性 事業者種別

加工食品メーカーが突出して多く、次いで商社・加工食品団体等が続く。



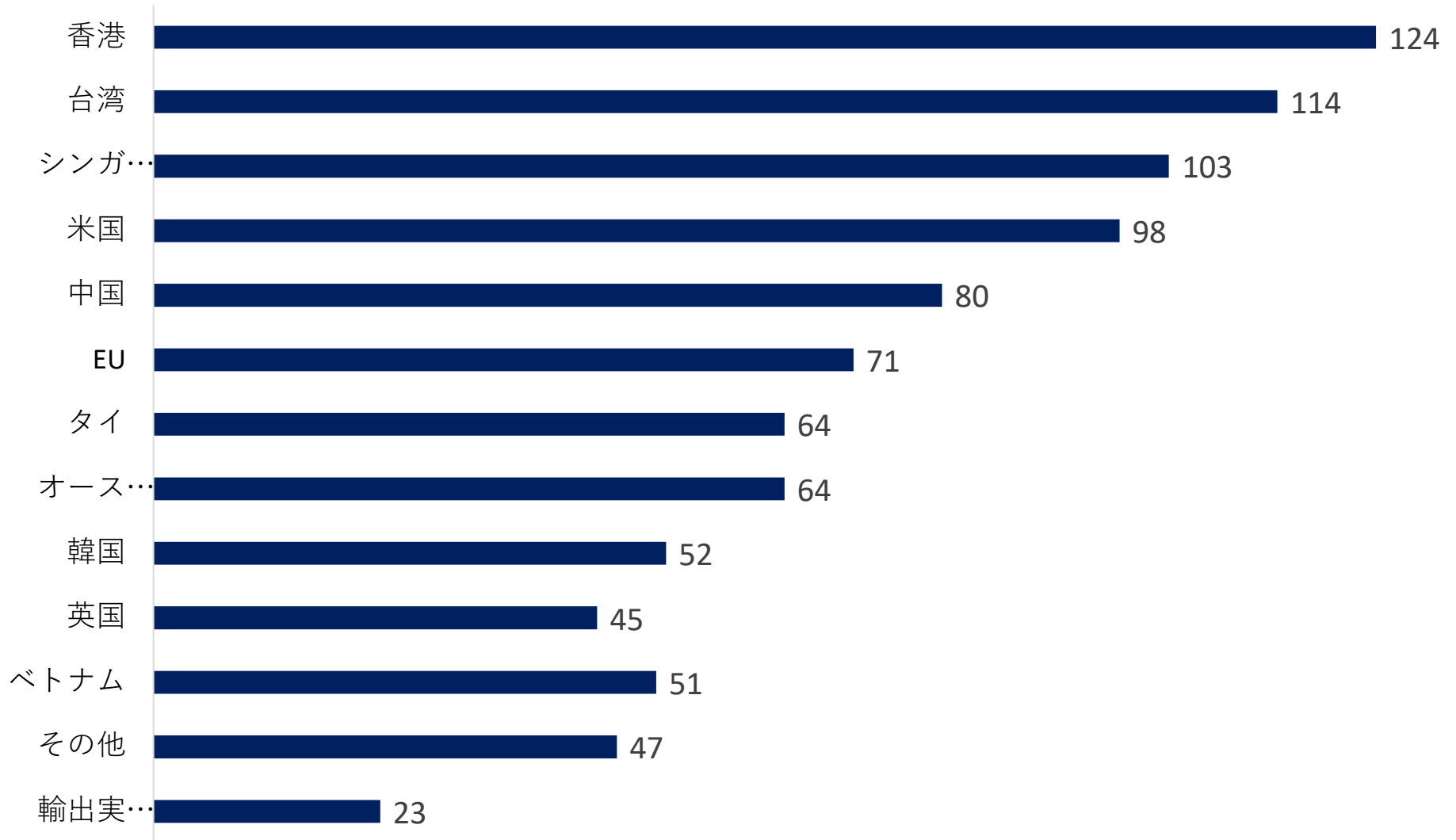
回答者属性 品目

菓子が最も多く、次いでその他調味料が多い。重点五品目の事業者は他と比べて多い傾向にある。



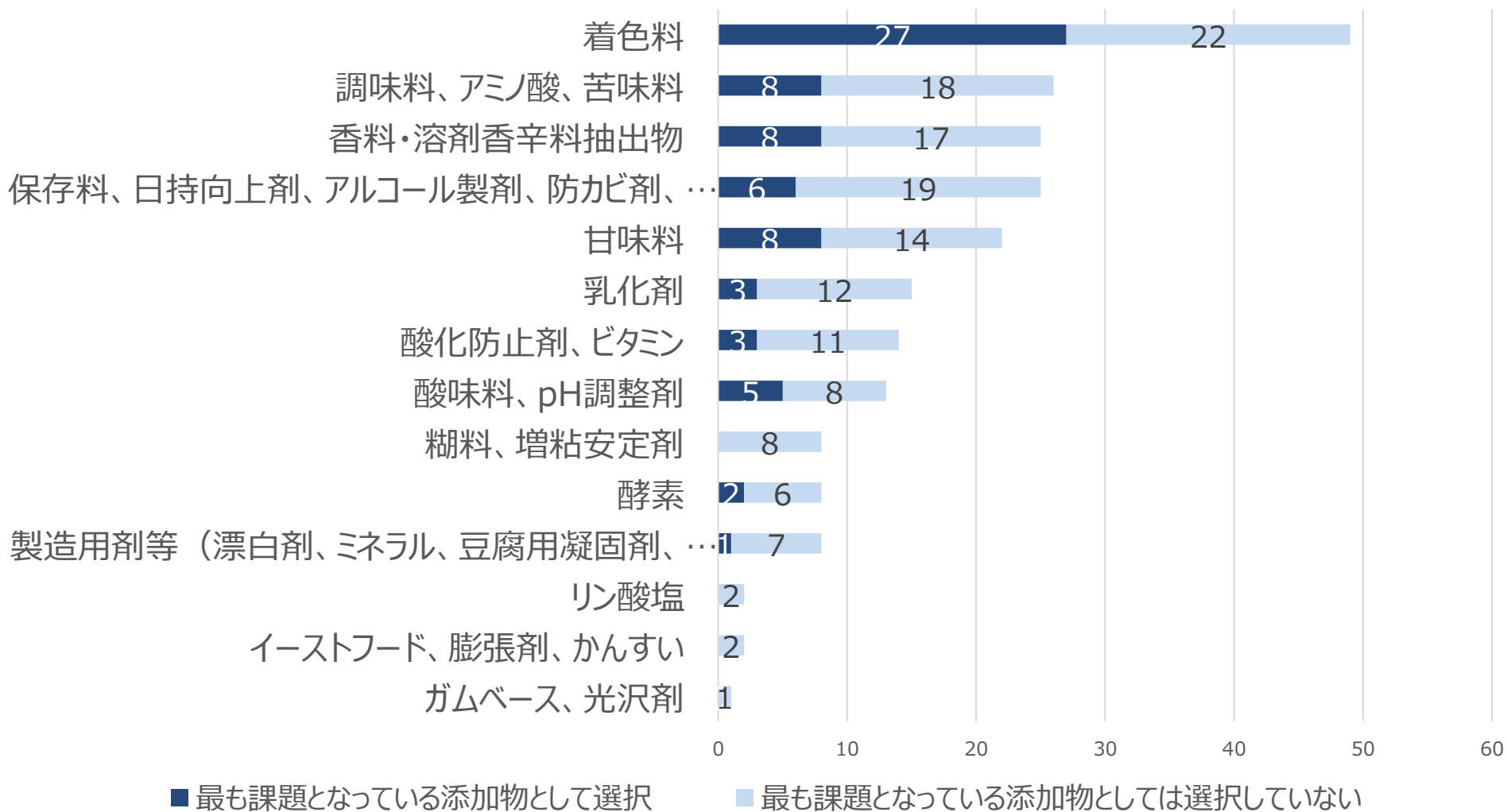
回答者属性 輸出先国・地域別

香港・米国・台湾・シンガポールに輸出している事業者が多く、輸出実績がない事業者も3%程度存在。



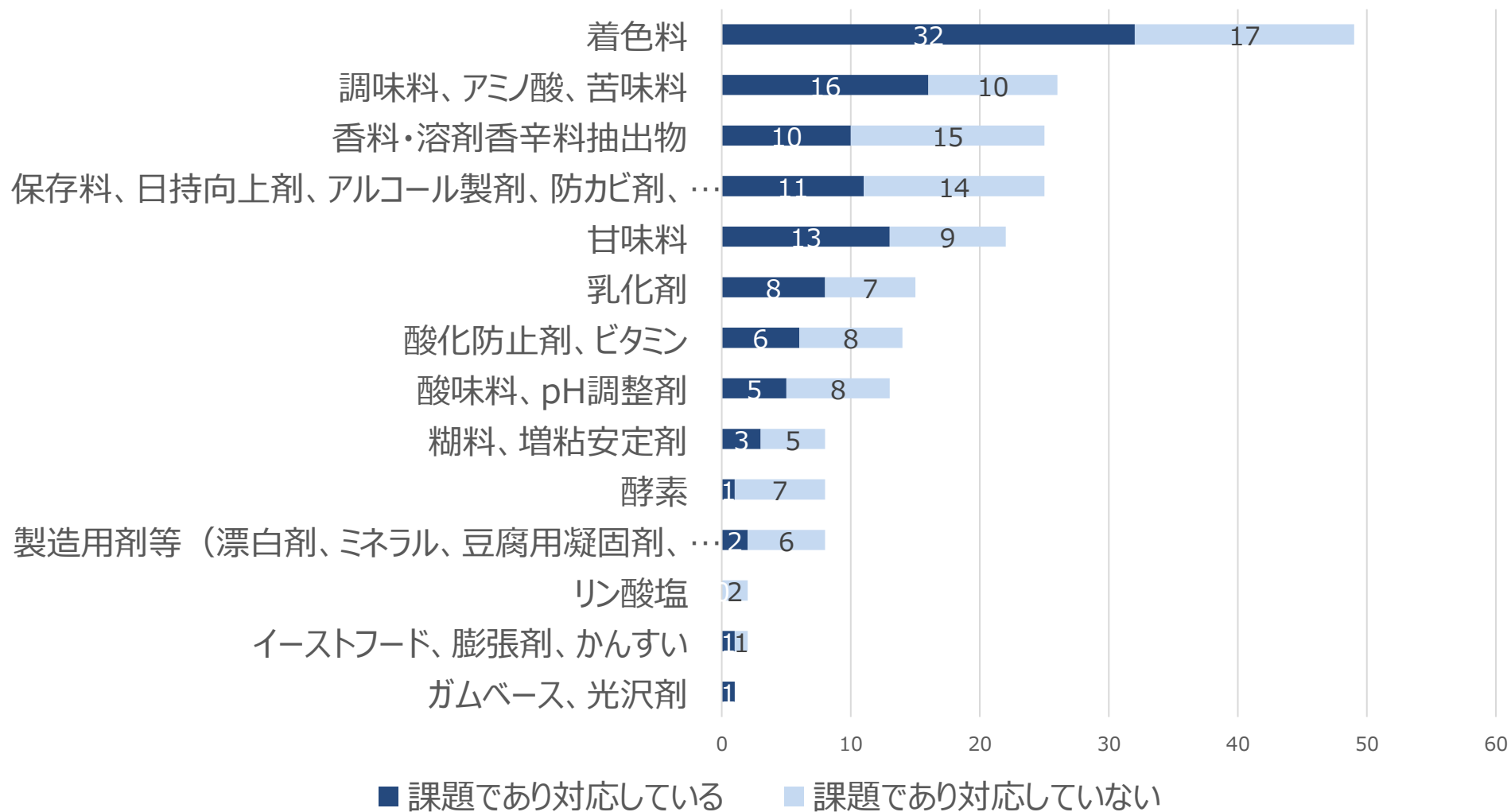
最も課題となっている添加物の種類

着色料を最も大きな課題として選択する事業者が過半数だが、その他については調味料・香料・甘味料を課題として挙げる事業者が多い。



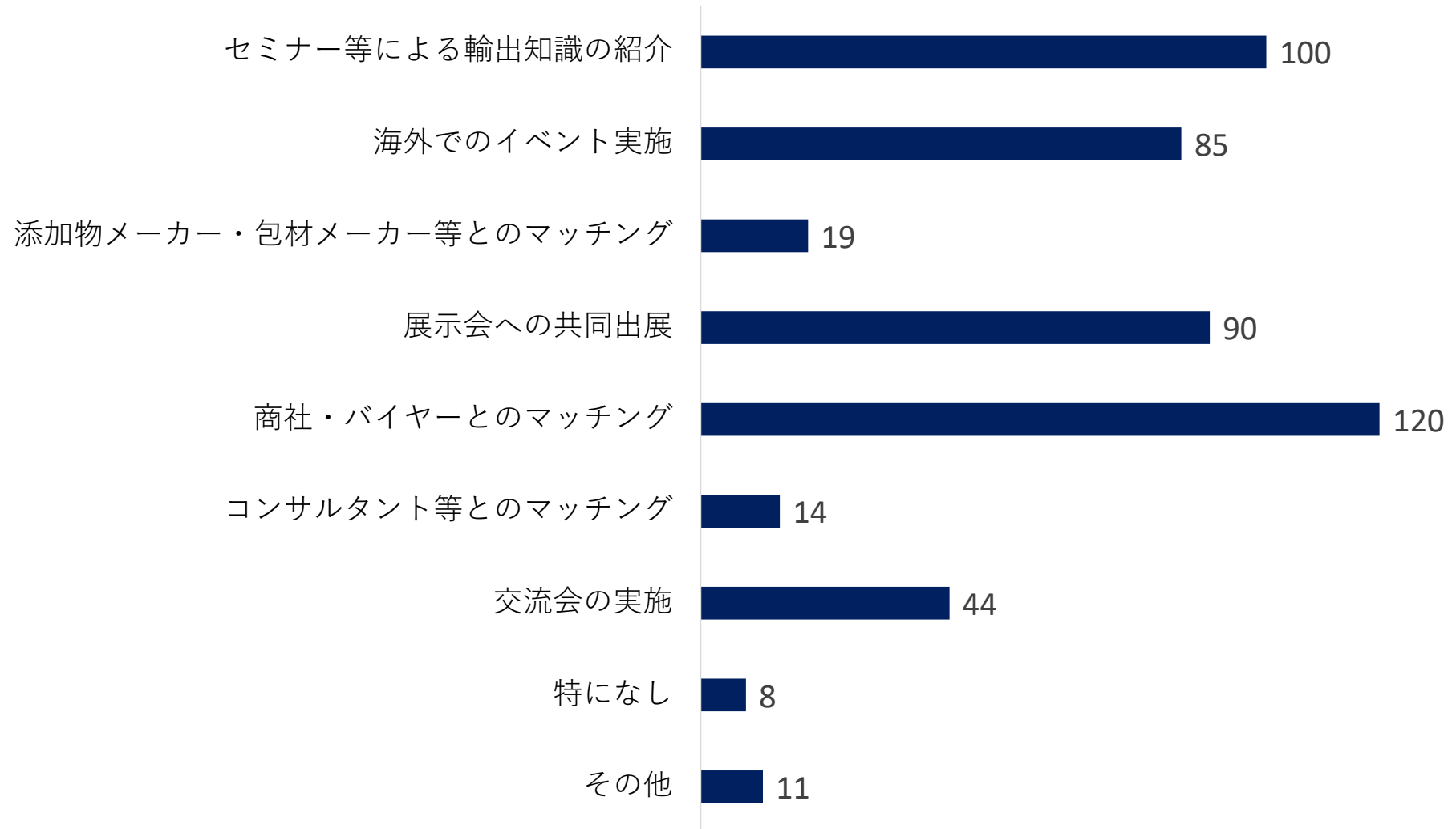
課題となっている添加物の対応状況

着色料については約65%の事業者が対応を実施しているが、その他の添加物については約半数の事業者が規制に対応できていない状況である。



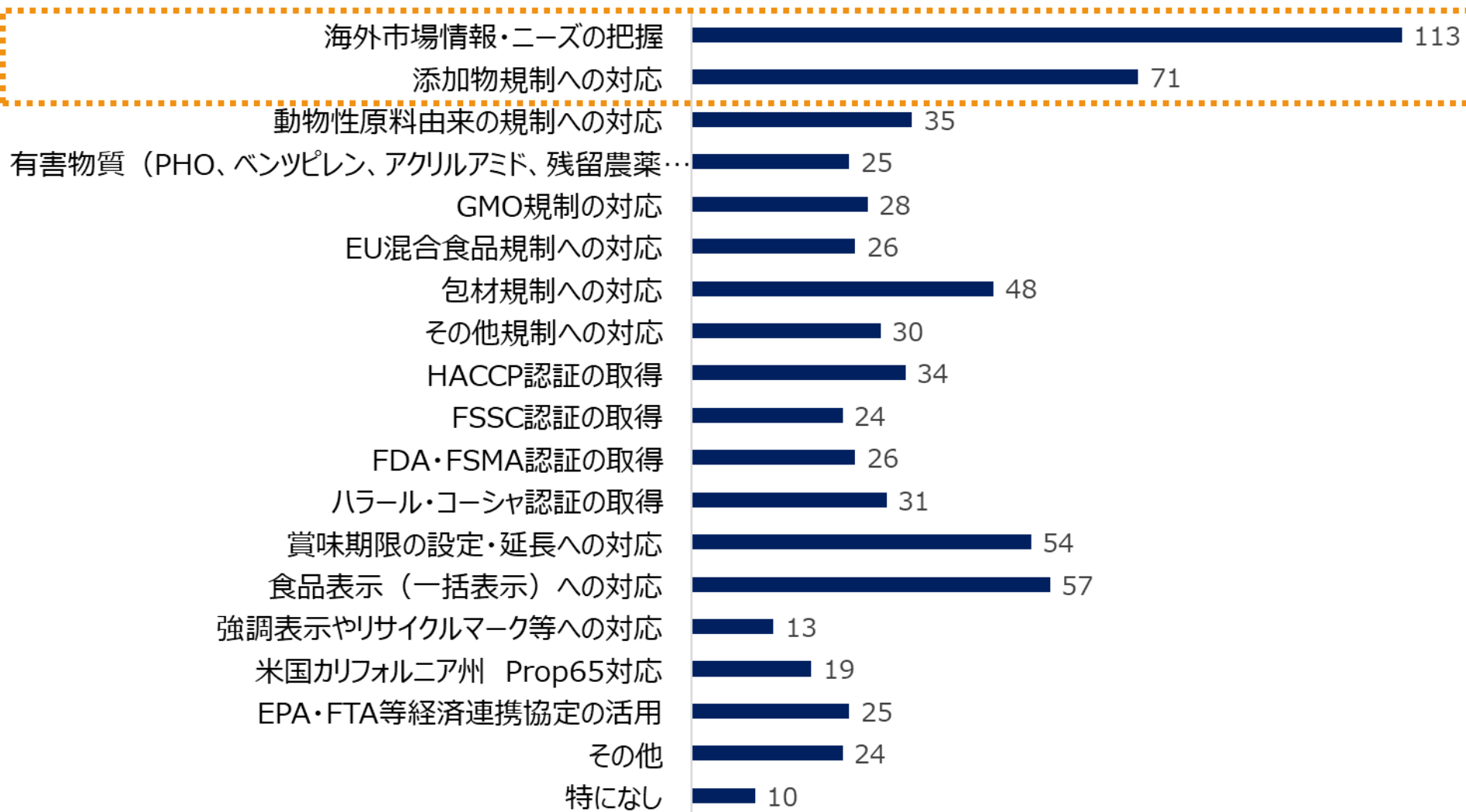
イベントを踏まえた取組・イベント後の取組実績

全体の約96%の事業者が何かしらの取組を実施。商社・バイヤーとのマッチングを行ったという回答が最も多く、次いでセミナー等によって輸出知識を紹介した取組が多い。



現在の輸出課題

加工食品の輸出拡大において解消が必要となる輸出課題に関して、特に海外市場ニーズ把握や添加物・賞味期限対応に課題を抱えている加工食品メーカー・団体が多い。



輸出課題詳細（1/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 各国の添加物の使用規制について、日本と異なる点。

加工食品メーカー

- 食品表示、EPAなどが国ごとに異なるため、理解把握するのが難しい。

加工食品メーカー

- 輸出先市場のニーズの把握、輸出先の国の規制

加工食品メーカー

- 各国の各種規制情報を遅滞なく入手すること
- 小ロット生産となり、輸出費用・輸送費なども掛かるため、高額商品になってしまう
- 輸出手続の日数が長いため、日本で販売するよりも1.5～2倍くらい長い賞味期間設定が必要

加工食品メーカー

輸出課題詳細（2/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- レギュレーション確認のための人材不足
- NB商品について海外法規不適合添加物使用により輸出できる商品が少ない

加工食品メーカー

- 買い手の開拓

商社

- かつお節の原料不足

加工食品メーカー

- 表示について各国の規制が分からない

加工食品メーカー

輸出課題詳細（3/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 経験や実績が少ないため、どのように販路を広げていけば良いのか、最低限どのような表示をしなければいけないのかが良くわかっていない。

加工食品メーカー

- 各国の法律対応

加工食品メーカー

- 製品に輸出先の一括表示シール貼付け対応が負担となっている。

加工食品メーカー

- 食品規制解除の促進

加工食品メーカー

輸出課題詳細（4/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 当社が直接輸出する訳で無く、お取引先から輸出を前提とした商品の製造委託を受けている、もしくは既存在庫を先方が商社を通し輸出している。

加工食品メーカー

- 将来的に自社商品の積極的な輸出も考慮している。しかし、各国での輸入規制が様々であり、規制情報を取れていないこと、またどの国が比較的对応容易で、どの国が対応困難か等の情報が無いことが課題。

加工食品メーカー

- 施設の改修工事費用の増大

加工食品メーカー

- 日本酒や焼酎の認知度が低い世界的な景気減速のためか昨年後半からの輸出が鈍化

加工食品団体

輸出課題詳細（5/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 課題とする輸送中の振動・衝撃による荷崩れやダメージにつきましてもそろそろ「物流課題」としてアジェンダにしてほしい

物流事業者

- 海外で人気のお酒を販売しているのですが商品のシユアは限られている事が現状ですね

その他/生産販売

- 物流コスト

その他/輸出事業者・コンサルタント

- タイムリーな情報アップデートが難しい、国内工場は、そもそもEU輸出を企図した設計ではない

加工食品メーカー

輸出課題詳細（6/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出先での販売状況、他社競合品の情報を得たい

加工食品メーカー

- 受け入れ現地側の詳細な輸入規制や、実際の対応事例等（発酵食品など特に）

商社

- アミノ酸液・ステビア・サッカリンなど日本では他社との差別化において使用している重要な要素であるが、海外においては輸出規制になっており輸出できない状況。

加工食品メーカー

- 新たな商流の確保が課題です。

加工食品メーカー

輸出課題詳細（7/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 販路拡大

商社

- 商談回数を増やす
- 製造能力の増大。成約率の向上

その他/農業

- ソーセージなどに使用されているイングレで認められていない一覧は把握している。が、一部不確かなところもある。

商社

- 海外バイヤーとのコンタクト

加工食品メーカー

輸出課題詳細（8/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 販売網の確立

その他/飲料販売社

- 価格面での課題があり、少量の輸出に留まっている

加工食品メーカー

- 海外対応スタッフの養成

加工食品メーカー

- 弊社商品賞味期限240日（8ヶ月）を1年以上への依頼が多い
- PB商品の開発依頼が多いが、対応できない状況

加工食品メーカー

輸出課題詳細（9/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 工場の海外法の安全基準の順守

加工食品メーカー

- 展示会出展を行い商談させて頂くのですが、東南アジアの場合はハラルがネックになり、また価格提示すると商談が途切れます。より良い原材料を用いて製造しているので価格が高くなってしまいうので価格の相場や包材のデザイン等好まれるものが見いだせていないことの課題があります

加工食品メーカー

- 賞味期限が6ヶ月と短いこと、アジア圏での冷蔵での物流及び販売に関して

加工食品メーカー

- PHOs規制に関する各国の認識（実際にどこまで厳密なものか不明）

加工食品メーカー

輸出課題詳細（10/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 間接的にしか輸出実績がないが、今後東南アジアを中心に実績を作りたい。しかしニーズがわからない。

加工食品メーカー

- 食品表示規則に則ったラベルかどうかの判定※米国以外

加工食品メーカー

- 農林水産省のホームページ等から出来るだけ最新の情報を取得する事を心がけています。

加工食品メーカー

- アメリカへの輸出障壁が高い。動物由来原料

加工食品メーカー

輸出課題詳細（11/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- バイヤー探し

コンサルタント

- FDA申請に関してのカテゴリーごとの認証の難易度について
- JTEAP等の税の軽減について

その他/広告メディア関連及び物流加工

- マーケティング

加工食品メーカー

- ターゲット国含め、海外の方に価値が伝わる商品設計とその訴求方法

加工食品メーカー

輸出課題詳細（12/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 現地でNGの原材料（色素など）が多く輸出出来ない商品が多い

加工食品メーカー

- 比較的規制のない輸出地域へは、ニーズなどのマーケティング調査が課題（シンガポールや台湾）
- FDAやHACCPの認証の取得が課題（アメリカやタイ）

その他/DMO

- 果物加工品の新たな地域、商品を販売したい

加工食品メーカー

- 福島処理水放出による中国国内消費者間の風評被害・中国国産品の台頭による日本製品の優位性見劣り
- 中国EC市場で中長期に商品を販売するために付加価値を重視したマーケティング戦略実行のための社内の理解及び先行投資理解不足

商社

輸出課題詳細（13/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出するだけの総量の確保

加工食品メーカー

- 各国の添加物輸入規制への対応、日本食(食品)のレッドオーシャン化＋現地生産化の動き等

加工食品メーカー

- 海外ニーズの把握、バイヤー開拓

商社

- 高純度天然ナリンギン成分の識別と独占輸出許可証柑橘グルテンフリー粉の量産化ができてない。原料不足が一因、原料の生産体制が整ってない。

加工食品メーカー

輸出課題詳細（14/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 各国の添加物等使用可不可がわかりにくい。

加工食品メーカー

- 新しい輸出先・市場をどうやって見つけていくか

加工食品メーカー

- 国際認証取得に向けての資金調達。人材育成。

加工食品メーカー

- 設備投資と人材不足。

加工食品メーカー

輸出課題詳細（15/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 設備投資と人材不足。

加工食品メーカー

- 物価高騰

加工食品メーカー

- 輸出にかかるコスト上昇新商品開発

商社

- オーストラリアの商社と商談中であり、価格交渉等が控えている

加工食品団体

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 物量少なく海外輸送にかかる商品への割りかけが大きくなり、単価が上がってしまう為、商談成立の機会が少なくなってしまう。

商社

- コロナの影響で海外営業をかけられず市場のニーズ等がなかなか分からない。
- HACCPの取得を条件とする取引先が増えてきた。

加工食品メーカー

- 包材包材規制に関しては、中国向け缶製品の通関
- その他規制への対応はオーストラリアウイスキー輸出に関する原産地証明発行用書類

加工食品メーカー

- 海外の青果の売り場に商品売り込みたいが、なかなか難しい。

加工食品メーカー

輸出課題詳細（17/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 残留農薬の規制

その他/卸業者

- シンガポール、マレーシア向け冷凍および常温商材の輸出

商社

- 海外の小売店、インポーターからお話は頂くが直接取引希望が多く商売に結びつかない。

加工食品メーカー

- 大間産本マグロというブランド商材の輸出プランの構築

物流業者

輸出課題詳細（18/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- ・ 残留農薬の規制

その他/卸業者

- ・ シンガポール、マレーシア向け冷凍および常温商材の輸出

商社

- ・ 海外の小売店、インポーターからお話は頂くが直接取引希望が多く商売に結びつかない。

加工食品メーカー

- ・ 大間産本マグロというブランド商材の輸出プランの構築

物流業者

輸出課題詳細（19/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 海外と国内の信頼できる顧客造り

加工食品メーカー

- 現状で高知県版HACCPを取得しているが、輸出や国内高品質店への対応を考えれば、現工場の衛生的生産性など対応部分に課題がある。特にハード面での衛生管理は急務だと実感している。

加工食品メーカー

- 各国のニーズに対応した商品提案が十分でない（パッケージを含む）

加工食品メーカー

- 海外向けパッケージと小売価格の見直し

加工食品メーカー

輸出課題詳細（20/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 安定的な仕入の難しさ、輸出先で通関時の厳しさ

商社

- 輸出相手国によって、相談する窓口がいろいろな機関であること。

加工食品メーカー

- 現地法令の調査、照合に時間を要する。専門知識を持つ人材が不足。

加工食品メーカー

- 輸出実績作り

加工食品メーカー

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 海外に認知が無い葉にんにくめたを飲食店や現地輸入商社等に伝えたいが、冷凍商品のためサンプル送付やテストマーケティング、広報活動などが非常に困難
- ジェトロののぶりの海外プロモーションに無償で商品提供など行いたい、窓口では水産事業者が参加対象とのことで当社は対象外

加工食品メーカー

- 輸出実績はあるが、イベントのみで通常の定期的な輸出に繋がっていない

加工食品メーカー

- 輸出拡大のための海外法規順守対応については難しいが、重点商品の集約、法規適合化のためのモディフィケーションを進めていく

加工食品メーカー

- 長期的にパートナーシップを築ける取引先を見つけること

加工食品メーカー

輸出課題詳細（22/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- HACCP認証に係るコストと成果

加工食品メーカー

- ニッチな商品の為市場が形成されておらず、手探りで販路を開拓するしか方法がない状況

加工食品メーカー

- 1年前より醤油1アイテムのみ定期的に出荷

加工食品メーカー

- 有機認証、コーシャーは継続するにも費用が負担になってる。食品分析、包材試験が負担になっている。メーカーのFSSCなどGFSI認証の取得。社会倫理やサステナビリティなど新しい要望もある。

商社

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- ほたるいか等を国内商社を通じ販路拡大を進めて行きたいが、販売先が分からない

その他

- 賞味期限の延長 60日から90日に延長したが、まだ延ばして欲しいといわれるが半生菓子では限界がある。
- 添加物 紅麴の代替えになるものが見つからない
- ニーズの把握 国内品と海外品を分けて作ることが設備上難しい

加工食品メーカー

- 味噌については使い方やニーズの把握、醤油については海外での製造増加に対してニーズに沿った差別化戦略、他の調味料や加工品については販路開拓

加工食品メーカー

- 現在、一定の基準をクリアした市場性ある商品は認証取得により更なる差別化を図ることがスタンダードとなった。今後はそういった商品がどの地域で需要があるのかニーズの把握が課題となる。

加工食品メーカー

輸出課題詳細（24/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 食品添加物における各国規制が様々で、輸出がしにくい。

加工食品メーカー

- 商社さんに食品安全の国際的認証の取得を求められている

加工食品メーカー

- 加工品輸出品の拡大
- 新規輸出国の拡大

商社

- 海外が求める消費期限が短い衛生、品質管理
国際認証取得に取り組むが、補助額の引き上げを期待したい（認証コンサルタント料はおよそ300万円かかる）
- 豚肉加工品においては、輸出が出来る国が少ない

コンサルタント

輸出課題詳細（25/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 海外輸出特有の規格に対応したメーカー開拓賞味期限ロット

商社

- 規制に関する詳細の把握。輸出一極（一国）集中へのリスクヘッジ。輸出商品の偏りを避けるための新たな商品開発

加工食品メーカー

- 出荷量が増えない

加工食品メーカー

- 言語の問題日本の表示と乖離があること等輸出に必要な成分分析が多いこと

加工食品メーカー

輸出課題詳細（26/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 人的不足により輸出担当者が不在

加工食品メーカー

- 見積もりの中の輸送費の部分。
- 弊社の商品は単価が安いいため、輸送費の占める割合が大きくなってしまっているのが課題です。

加工食品メーカー

- Prop65について、法規制の内容と訴訟に発展している実情が異なるとの情報があり、食品包装資材含め、どこまで厳密に対応すべきか判断が付かない。大手食品メーカーでも食品包装資材の材料までは確認していない、調査しきれない、との情報もあり実情の管理方法を知りたい。

加工食品メーカー

- 茨城県産品の中国による輸入規制

加工食品メーカー

輸出課題詳細 (27/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 現状、国内商社への納品であり、定番化その他、具体的な企画へのアプローチが戦略化できていない

加工食品メーカー

- 輸出には興味がありますが、何からすればいいのかわかりません。

加工食品メーカー

- Prop65について、法規制の内容と訴訟に発展している実情が異なるとの情報があり、食品包装資材含め、どこまで厳密に対応すべきか判断が付かない。大手食品メーカーでも食品包装資材の材料までは確認していない、調査しきれない、との情報もあり実情の管理方法を知りたい。

加工食品メーカー

- 現地ニーズの把握と、商品設計現地バイヤー

加工食品メーカー

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 原料となる農作物畜産物の品種や種苗の海外流出による日本産商品付加価値低下および国際競争力低下懸念。海外で安価に生産され価格競争力低下。例：和牛、果物（リンゴ、シャインマスカット、イチゴなど）、茶葉、野菜、米（食用、酒米）
- 地方自治体が開発した品種および種苗の農水省との連携による海外知財登録支援および管理支援の実施、厳格な知財海外流出阻止法制の必要性。
- 日本古来の食文化定義・基準設定と世界へ向けた日本産基準情報および日本産・海外産の明確な区別の情報発信を継続的に発信可能な自動拡散システムの構築（SNS）。例：抹茶（茶道文化）、日本酒、調味料（味噌、醤油、酢など）、果物（日本産品種）

商社

- 現地食品との相性をプレゼンする機会を得るため、個人単位ではなく、醤油みそ組合の活動を補助してもらいたい。現地で陳列棚に置くだけでは販売機会の創出は効果が少ない。ニッチな商品をニッチな市場にマッチさせる為に、コーシャ認証を取得する作業を進めている。

加工食品メーカー/菓子

輸出課題詳細 (29/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出時に輸出可能な添加物であるかの調査に時間がかかっている。経済連携協定の書類作成に時間がかかっている

商社

- 無添加の商品を作っているので今まで保存料等興味なかった

加工食品メーカー

- 輸送コスト

コンサルタント

- ハラル認証

加工食品メーカー

輸出課題詳細 (30/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 欧州向けの包装の検査費用

加工食品メーカー

- EU向け加工品は添加物の規制が厳しい。魚の色を保持するために、添加物を使用したいが現状、使えない状況である。EU向け新商品の開発をすすめていたが、頓挫してしまった。

加工食品メーカー

- 施設整備

加工食品メーカー

- どの国に納豆の需要が見いだせるのかがわからない。

加工食品メーカー

輸出課題詳細 (31/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出商社が現地小売の御用聞になっていて、新規商品の採用に非協力的。市場を作れない

コンサルタント

- 要冷蔵（10℃以下）の商品の為、輸送コストが課題

加工食品メーカー

- 施設老朽化に伴い、認証を得るのが難しい。

加工食品メーカー

- 生産量を増やさないと国内で品切れが起こり、輸出にみそを回せない

加工食品メーカー

輸出課題詳細 (32/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 冷凍賞味期限の延長

加工食品メーカー

- 食品の衛生管理の取得

加工食品メーカー

- 販路開拓輸出向けの商品の増産のためと一般衛生管理向上のため、工場建設と設備投資
- 施設老朽化に伴い、認証を得るのが難しい。

加工食品メーカー

- 輸出・販売先のマッチング

物流事業者

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- EU市場の規制やニーズにマッチした商品群のラインナップを効率的に行うことが難しい。品質管理情報の整備、現地表示ラベルの準備等に多くの時間を取られている。

商社

- SID認証を取得するのが大変添加物の使用規制を調べるのと代替原料を探すのが大変

加工食品メーカー

- 規制対応成分などの分析にかかる費用負担が難しい

加工食品メーカー

- コロナの影響で、海運事情が悪化した際に、賞味期間の延長が求められた。その余韻もあり、中国向けのカントリーリスクから同様の要求がある。優先順位の高い課題となっている。

加工食品メーカー

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 日本の食品表示規制と米国を中心とした海外の食品表示規制が合わない。日本国政府には日本の加工食品製造業者の海外への輸出拡大及び発展、グローバル化を促進する為にも日本のガラパゴス規制を海外の規制に合わせ是が非でも企業が世界基準でものづくりをするような環境整備をお願いしたい。

加工食品メーカー

- 輸出商社様が振り向いてくれるかどうか

加工食品メーカー

- 鳥インフルエンザの影響で国内供給がひっ迫し、鶏卵輸出が止まっている
- 鶏卵の賞味期限60日は国際競争力に欠ける(90日が標準)
- LL牛乳加工施設が不足し、新規輸出案件に対応できない

商社

- 中国の輸出規制

加工食品メーカー

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 現状ではGMO規制や添加物規制の各国による制限を調べながら商品化していて専門家等がないので商品化までに時間がかかる
- 賞味期限の延長の化学的根拠がないため自社の経験のある賞味期限までしか設定出来ていない

加工食品メーカー

- 商流の確立

加工食品メーカー

- 各国の規制に対しての対応（現状は添加物対応一覧などありだいぶ助かっています）

加工食品メーカー

- 国ごとに違う添加物規制への対応現地消費者ニーズ・流通ニーズの把握

加工食品メーカー

輸出課題詳細（36/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 実績が少ないことから販路拡大のために

加工食品メーカー

- 各国のインポーターと商談出来ない

加工食品メーカー

- 国ごとに規制内容が異なるため、対応に苦慮することがある

加工食品メーカー

- 商談機会の確保

加工食品メーカー

輸出課題詳細 (37/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- EU包材規制で、脱酸素剤（エージレス）が食品自体に触れるのが問題になる可能性があり、その対応策

加工食品メーカー

- 法規制対応。原発処理水放水対応

商社

- 自社商品の米国内での認知活動が思うように進んでいない、展示会への出展など商品のアピールをもっとしていきたい。

加工食品メーカー

- 営業経費の削減で渡航をして直接エンドユーザー開拓ができない。

加工食品メーカー

輸出課題詳細 (38/50)

Q : 現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 各国に合わせた食品表示

加工食品メーカー

- プラの容器包材の対応

その他/食品加工

- 昔ながらの手狭なお茶の工場で現在製造中。国内の消費が落ちている昨今において今後海外にマーケットを広げて行きたい。そこで工場の補助金を使用したいが国の補助金が後払いで申請に躊躇。制度改革をお願いしたい。

加工食品メーカー

- 国内仕入先企業開拓

商社

輸出課題詳細 (39/50)

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 通関規制がコロコロとかわる。特に中国

加工食品メーカー

- 新規販売先が増えないこと

商社

- いかに継続的に長期的ビジネスに発展させていくのか？また、海外現地での営業活動や有効的施策について苦慮

商社

- どの国にこういった商品が求められていくくらいが適正なのかを知る必要がある

商社

輸出課題詳細（40/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出先の多国化を目指す中、表示、添加物規制の課題有り

加工食品メーカー

- 需要・ニーズのキャッチ

加工食品メーカー

- 認知度がない

その他/業界団体

- HACCPを取得していないことにより、インドネシア向けに日本酒を輸出できないと言われた

加工食品メーカー

輸出課題詳細（41/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸送の冷凍冷蔵対応不備

加工食品メーカー

- 販売先等

加工食品メーカー

- 輸出手続きに必要な証明書類が多く、また押印も必要で手間と時間がかかる事

加工食品メーカー

- 輸出拡大を掲げるも体制が整っていない。

加工食品メーカー

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 水産物には、国として一般的に出す漁獲証明書フォームが存在せず、海外から要求があった場合に自社フォームを作成している状態。一部の国向けでは漁獲証明書の公的フォームを依頼される場面がある。加工食品でも簡易なものには要求される場合もある。

その他/商社・加工食品メーカー・物流事業複合

- 国内での瓶不足により、商品の生産に支障が出てきている。その様な状況下で瓶を含めた多くの資材が高騰。資材メーカーや問屋は、原料やエネルギー価格が下がると、大手メーカーとは交渉により価格を下げるが、零細企業には交渉さえしない。ここ20年間で資材の価格低下は全くない。今回の資材高騰は値上げ幅が大きく、負担に。

加工食品メーカー

- 常温製品の開発

加工食品メーカー

- 販路拡大

加工食品メーカー

輸出課題詳細（43/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出先の多国化を目指す中、表示、添加物規制の課題有り

加工食品メーカー

- 需要・ニーズのキャッチ

加工食品メーカー

- 認知度が無い

その他/業界団体

- HACCPを取得していないことにより、インドネシア向けに日本酒を輸出できないと言われた

加工食品メーカー

輸出課題詳細（44/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 商流。零細企業が独自で海外へ輸出するのは難しいし、危ないと思う。

加工食品メーカー

- GMO規制のため、アメリカ向けとそれ以外の国を同じ商品を2つに分けて管理している。

加工食品メーカー

- ラムネのビー玉不足とラムネのガラス瓶不足と玉付きキャップ不足

加工食品団体

- 各国の工場登録の書類作成。EPA認定までの過程

加工食品メーカー

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 仕入れの品の拡充

商社

- 成分分析の確認が難しい

その他/経済団体

- PHOsの使用有無の確認の製品毎の実施。乳製品を含む製品の輸出の場合口蹄疫を想定した殺菌条件をクリアする必要がある。アメリカに輸出を検討する際にはPROP65対応と共に製造工場のFSVP対応が必要で指摘事項がある場合スケジュール調整が難しい。

加工食品メーカー

- できるだけ情報開示せずに輸出したい

加工食品メーカー

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 国によつての表示基準が異なる⇒国際標準のルールを、各国が遵守する／認めることができればベスト
- 特保や機能性表示商品などの許認可⇒ネット普及などで世界的に健康意識が高まっている中、国内向けの特保認証が海外でも同様に展開できる共通基準になると、国産の健康食品をより広く、簡易に輸出できる
- 原発規制の撤廃（台湾・モンゴル）⇒日本国内のサプライチェーン上、消費ボリュームは東日本が多く、製造も東側中心としている企業が多い。台湾は放射線検査証明書の提出により輸入可能となったが、それでも手間・コストがかかる。規制撤廃できると輸出規模の拡大に繋がり、メリット大。
- 米国各州法の把握の難しさ⇒国だけでなく、各州によつての法規も異なる部分（ex.リサイクル法）があり、情報収集と全て対応することの難しい。情報まとめる機構やサポートがあるととても助かります。

加工食品メーカー

- 日本の食品輸出促進あたり、当社も数多くの中小産品を取り扱ってきた。まだ知名度がない商品を中国市場で伸ばしていくには最低でも2～3年地道な対消費者に対する認知活動（営業活動）が必要。
- 越境ECができた中で販路構築は容易になったが、消費者の継続した囲い込み活動ができていない。多くの場合は成果を短期的に求めてしまい、資金的体力が続かないまま結果が出る前に頓挫。
- 今後中小企業の輸出に対する心構え（中長期の視野で、短期的にうまくいく事はない）とそれに準ずる資金力もしくは政府/自治体のサポートが必要になってくる。

商社

輸出課題詳細（47/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出用の包材がどこでも購入できるという状況にないので、価格的に適正かどうか分かりません。

加工食品メーカー

- 定番化につなげるための販路開拓

加工食品メーカー

- 各国において添加物等の対応が異なる為、商品化の際どの様に対応していくのか。

加工食品メーカー

- 認知度向上
- 北海道のイメージに結びついた高付加価値ブランディング確立への取組み
- 賞味期限延長への対応

加工食品団体

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 輸出先ごとに異なる輸入規制への対応（原料、HSコード、関税率など）。
- 賞味期限の設定（現地販売店納入時の残賞味期限のルールがあるため、賞味期限は販売可能期間並びに在庫リスクに直接的な影響を与える）

その他/小売卸売

- 動物性由来原料：製造助剤にさかのぼることがある為。
- GMO：精製原料であっても問題となることと日本の分別基準では、海外対応が難しいこと
- 包材規制：国内検査機関で有効なテストが難しい事
- ハラル・コーシャ認証：マレーシアのジャキムやインドのムイなど有効な認証を取得する場合、新たな専用製造ラインの立ち上げが必要になること

加工食品メーカー

輸出課題詳細（49/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 中国・韓国の放射能汚染に係る輸出規制

加工食品団体

- 海外の商社からの要望がニッチでありながら、規制が厳しくなり、対応を頂くメーカーさんとのギャップを感じる

商社

- 国毎規制確認作業とその整合性

加工食品メーカー

- FSSC22000取得に向けて動き始めた。各国規制を自社で調査する必要がでてくるため、対応に苦慮
- ラベルを作るには○法の○条と別表○に列挙されている、それ以外に△法△条に非該当であることの確認が必要。

加工食品メーカー

輸出課題詳細（50/50）

Q：現在の輸出課題について詳細をご記入ください。

- 船便の確保が困難

加工食品メーカー

- 賞味期限延長、添加物規制の確認

加工食品メーカー

- 組合員の希望と国の目的目標とのミスマッチ

その他/協同組合

- 脱プラが進む EUに向けての、商品容器について

加工食品団体

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（1/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 添加物や資材等、使用規制のある物についての、解り易いレクチャーをお願いしたい。

加工食品メーカー

- EPA,FTAに関連するセミナーが少ないので多く開催して欲しい

加工食品メーカー

- 海外の外食企業・小売企業にどのように売り込むかの成功事例を紹介してほしい。

加工食品メーカー

- 「物流課題」にそろそろポイントを広げて頂けると輸出者さまも喜ばれるのではと考えますが如何でしょうか？ 輸出者さまより物流に関する問題についてどこに相談して良いか分からないため、輸出が進んでいないというご意見を聞きますので為念。

物流事業者

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（2/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 海外展示会の無料参加考えてください

その他/生産販売

- 海外向けの小ロットをどう克服するか。日本の法令と海外の法令の違いの解説講座

商社

- 各国現地バイヤーによる現地で好まれる商品、期待される商品。

加工食品メーカー

- FDAに関する規制について等

その他

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（3/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 1都9県規制問題・メーカー正規でないと本来原産地証明手に入らないはずの商品が、並行輸入の形でどのように中国市場に流れているのか・日本ブランドを守るための輸出専用商品の確立方法

商社

- 国別の規制、輸出NG成分等が簡単に調査出来る方法など。

商社

- 増え続けるムスリム商圏への対応と商談機会（海外）

加工食品メーカー

- グローバルリテラーとのビジネスの関わり方について

その他

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（4/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 生産者（農家）と一緒に参加する海外イベントを企画してはどうでしょうか。

加工食品メーカー

- 基本的な輸出の知識や規制関連などは充実しているので、もっと品目や地域を絞って、より掘り下げた現場チックな海外ニーズを紹介していただきたい。

加工食品メーカー

- 海外で販売されている日本の商品めがけて、同じような日本の商品が支援や助成を付けて売り込まれてくることをどうやって防ぐか

加工食品メーカー

- 成功事例の紹介

加工食品メーカー

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（5/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 米国 新規食品成分のGRAS対応について

加工食品メーカー

- 商社とメーカーの関係

加工食品メーカー

- 包材の知識

加工食品メーカー

- 海外との共同開発

コンサルタント

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（6/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 規制のトラブルに対する事例とその対応に関する情報

加工食品メーカー

- メーカーさん向けの「輸出商品」づくりセミナー & 補助金
- 国際認証取得の重要性セミナー
- 国際認証無ければ別途監査必要商社とメーカーの関係

卸売業

- グルテンフリー等のアレルギー対策

加工食品メーカー

- 海外バイヤーに向けての勉強会開催にあたり各食材のプレゼンのスペシャリストを育成するとか

加工食品メーカー

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（7/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 健康食品

加工食品メーカー

- PR方法

加工食品メーカー

- わさび、香辛料に関して

加工食品メーカー

- 加工食品といってもそれぞれのカテゴリーで問題は違うと思います。各カテゴリー別の販路開拓のための成功例があれば教えてください。

加工食品メーカー

今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ（8/8）

Q：今後GFP加工食品部会にて取り扱ってほしいテーマ等があればお聞かせください。

- 生産地の取り組み情報。海外進出時の取り組み事例のさらに多くしてほしい。

商社

- 国が求めている事業を教えて欲しい。それに合う事業を考え(またはマッチしないので参加しない)無駄をなくしたいです。

その他

冷凍食品に係る状況・取組に関する アンケート結果

アンケート調査概要

冷凍品の輸出拡大に際して重要な温度管理の対応や商品開発に関する課題を把握するアンケートを行い、加工食品事業者や物通業者等から計25件の回答を得た。

実施目的

- 冷凍品を扱っている加工食品事業者等へのアンケートを行い、冷凍品の輸出拡大に際して課題となっている輸送の工夫や、冷凍食品市場のニーズ把握に関する現状を把握する
- 把握した情報を今後の冷凍品輸出促進へ繋げる

実施時期

- 2023年5月29日～6月11日

実施方法

- 加工食品部会事務局であるアクセンチュアから、各事業者へ直接アンケートURLをEメールで発信し、集計

対象者

- 1,460件

回答者数

- 25件（回答率：2%）

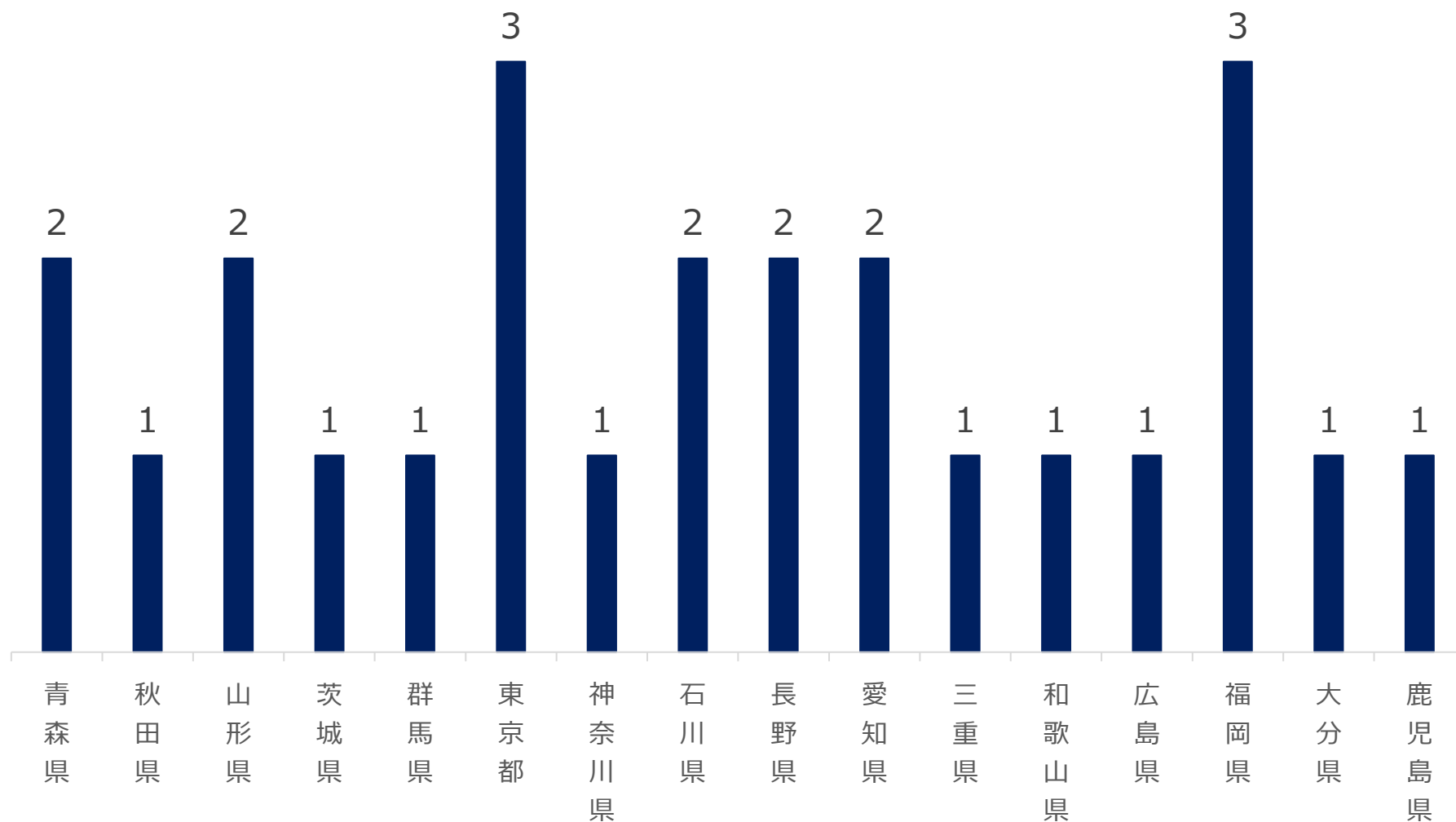
調査内容

- 事業者の冷凍品輸出時の課題・対応策、情報収集・運用判断の際の課題 等

- 輸出先国別では、**香港(13件)**を現在の輸出先国としている事業者の数が圧倒的に多く、次いで**米国(7件)**、**台湾(6件)**、**シンガポール(6件)** がほぼ同数で並ぶ
 - **48%と約半数の事業者は輸出経験がない**と回答した
- 冷凍品輸出の課題対応に関する課題については、**各国の冷凍食品市場・ニーズの把握について課題を抱えている事業者 (11件)** が最も多く、商品の開発や商品化に注力し、海外のニーズに合った商品の販売を目指している事業者も一定数存在する
 - 冷凍品特有の問題として、**温度管理や荷崩れ (9件)**、**効率の良い輸送方法を確立するためのパートナー選定 (6件)** を課題としている事業者もみられた。
- GFP加工食品部会のイベントを踏まえた取組やイベント後に実施した取組については、**冷凍品の開発を進めている事業者 (10件)** が最も多く、次いで**イベントで得た知識を輸出業務に取り入れた事業者 (5件)** や、**パートナー選定を進めている事業者 (5件)** の回答が得られた
 - **混載を望んでいる事業者の解答**も得られ、今後は**小ロットでも輸出が可能になる仕組みづくり**や、輸出相手国が同じ場合、混載しコストを抑えながら流通することが求められる。そのために、加工食品メーカーと商社・物流業者、メーカー同士のマッチングの機会を増やすことが求められる

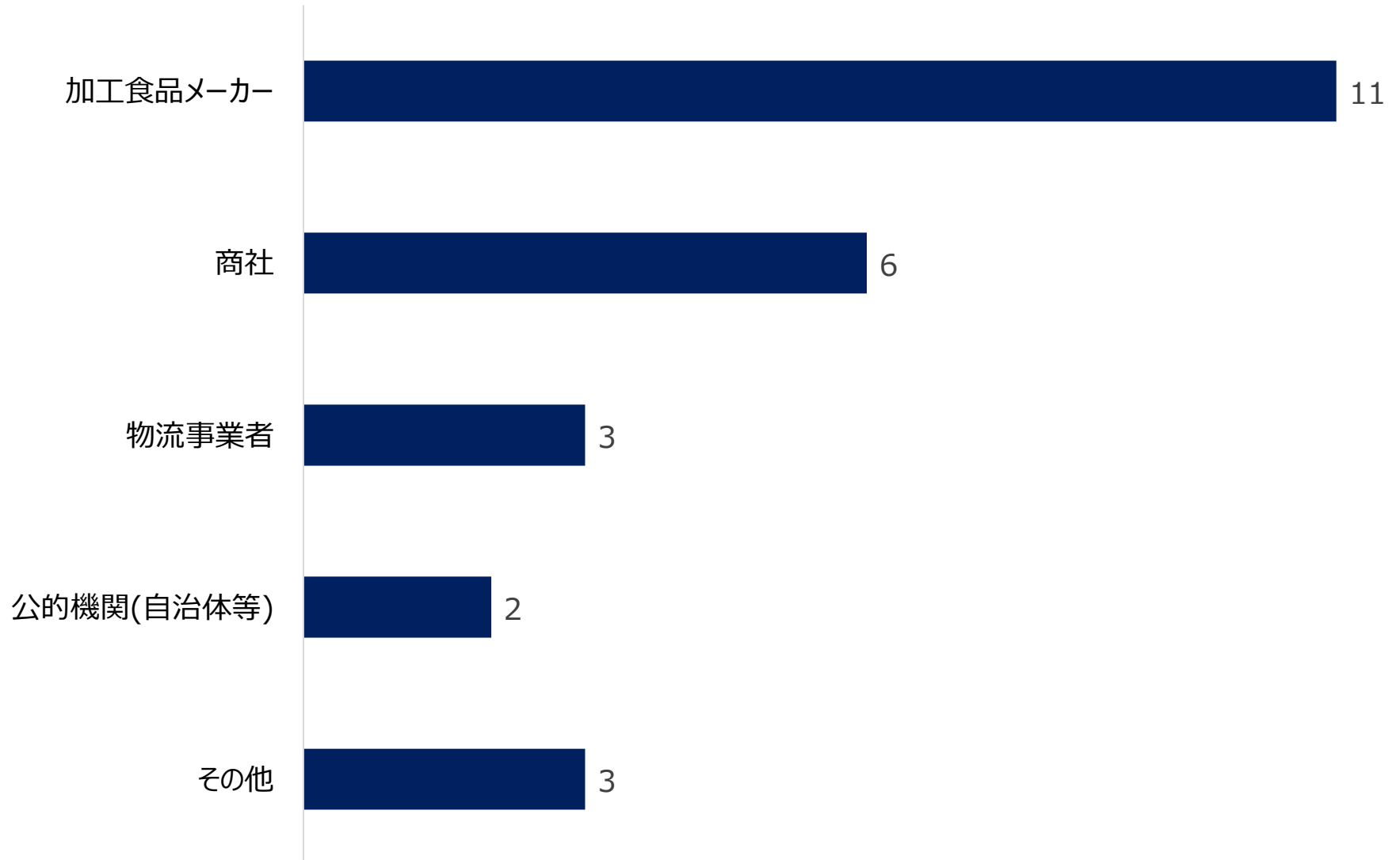
回答者属性 所在地

東京,福岡が3事業者、青森,山形,石川,長野,愛知から2事業者が参加。その他9県からは1事業者ずつ参加。



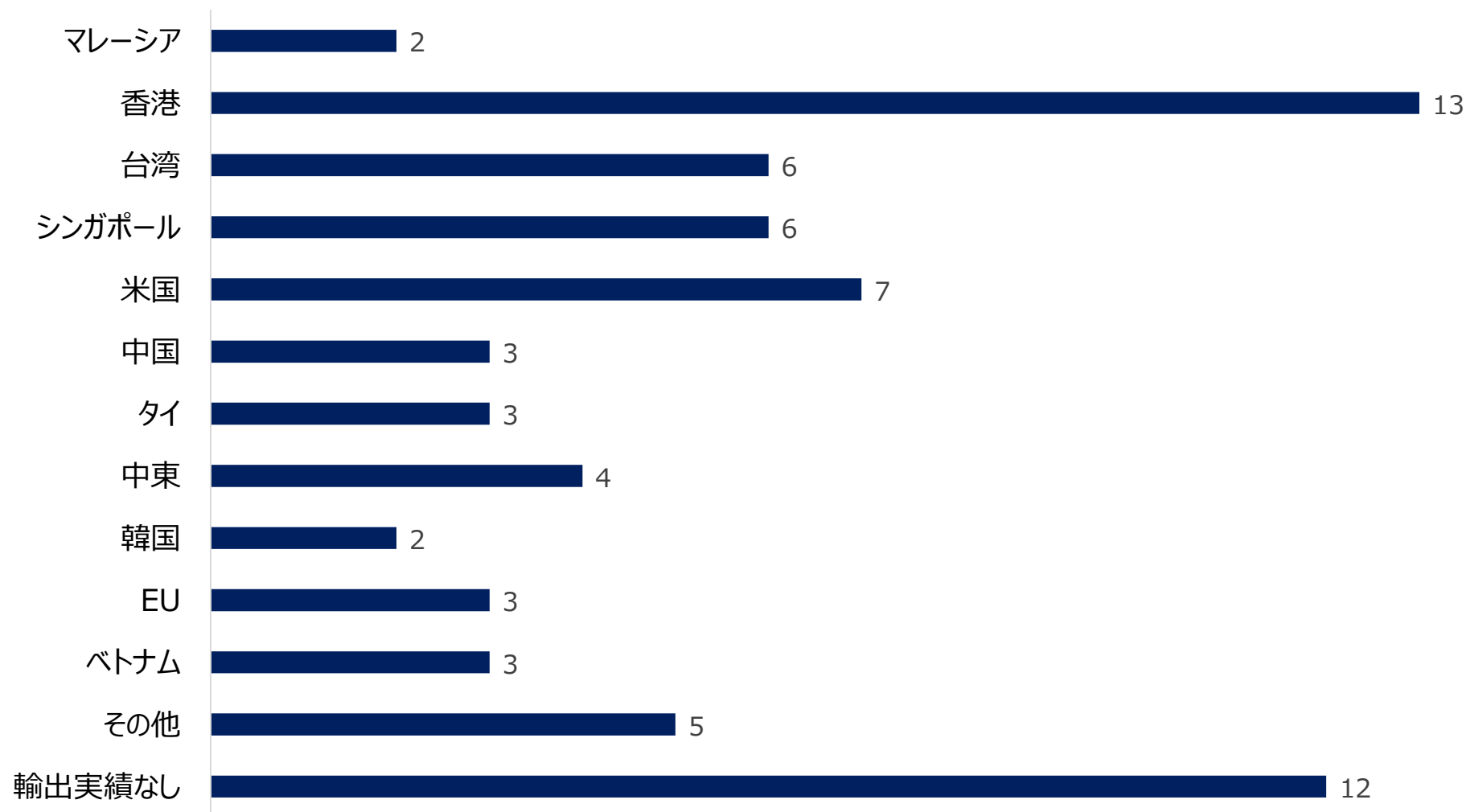
回答者属性 事業者種別

加工食品メーカーが突出して多く、次いで商社・物流事業者が続く。



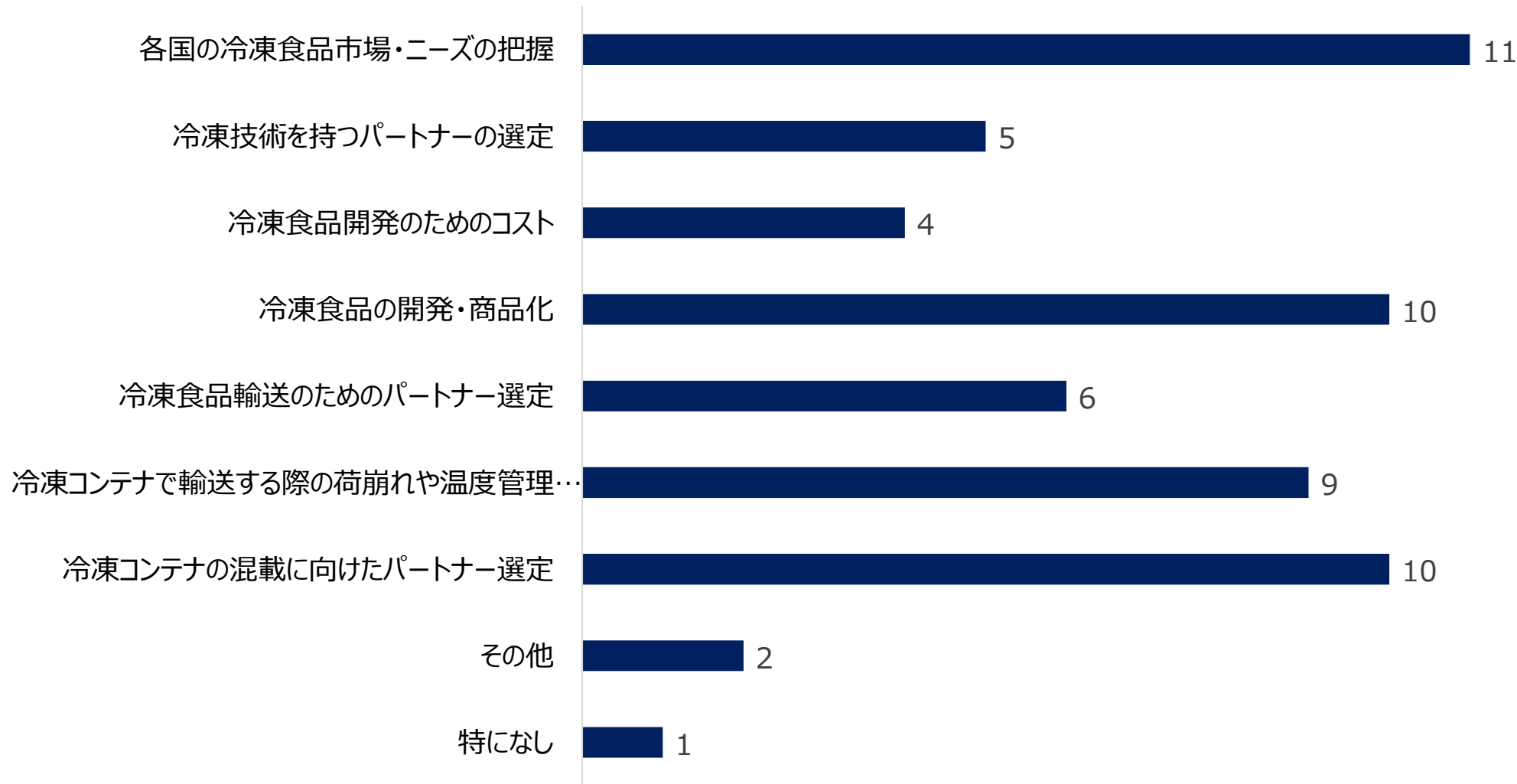
回答者属性 輸出先国・地域別

香港に輸出経験がある事業者が13社と突出して多く、米国が7事業者、アジアの国々に輸出経験のある事業者も多い。輸出経験がない事業者は48%と多い傾向。



冷凍食品の輸出に向けた課題

市場のニーズ把握、開発、商品化、コンテナ混載に向けたパートナー選定が課題と感じている事業者が多く、その他の項目についても課題を感じている事業者が一定数存在。



輸出に向けた課題（1/4）

Q：冷凍食品の輸出に向けた課題についての詳細をご記入ください。

- 単独でのコンテナ発送困難ですので、混載での参加が可能か

その他/加工食品販売

- 販路拡大の為にパートナーと商品開発

加工食品メーカー

- 本マグロの流通温度は－60℃と非常に低温であるため、この低温度帯をキープした輸送方法の安定化を求めている。

物流事業者

- 売れる量が確実でないため、どうしても少量多品種となってしまう。

物流事業者

輸出に向けた課題（2/4）

Q：冷凍食品の輸出に向けた課題についての詳細をご記入ください。

- 常温品は少量でもコスト面でもそこまで負担なく行いやすいが、冷凍品となると、日本のように冷凍品のドアtoドアのサービスが網羅されていないことがほとんどで運ぶにはコストが非常に高いため、商流を形成するための初期段階でのサンプルのやり取りなどがしづらい

商社

- 冷凍食品の肝は、冷凍前なら前処理、解凍の仕方で商品が大きくかわります。いかに、無添加でフードマスターの味、盛り付け、栄養価を解凍後にも保つことができるかを再現中

加工食品メーカー

- 冷凍食品輸送に伴う、混載サービスがもっと普及すれば輸出ハードルが下がると思われます。出来れば定期便

商社

- まだ冷凍出荷に対応していない生産者がいらっしゃいますので、各国での冷凍食品に対する需要を把握した上で、生産者とともに冷凍出荷できる方法を探っていく予定です。

商社

輸出に向けた課題（3/4）

Q：冷凍食品の輸出に向けた課題についての詳細をご記入ください。

- 冷凍キムチについての各国のニーズ、レギュレーションを把握しきれていない。

加工食品メーカー

- 米国での冷凍輸送の注意点や手段の検討

加工食品メーカー

- 輸出先国のレギュレーション対応については継続した課題

加工食品メーカー

- 多くの企業様を紹介していただきたいです。

加工食品メーカー

輸出に向けた課題（4/4）

Q：冷凍食品の輸出に向けた課題についての詳細をご記入ください。

- ゆで卵を冷凍＆解凍できる会社がいれば興味ある。アルコール冷凍で解凍すると、白身がパサパサになる。

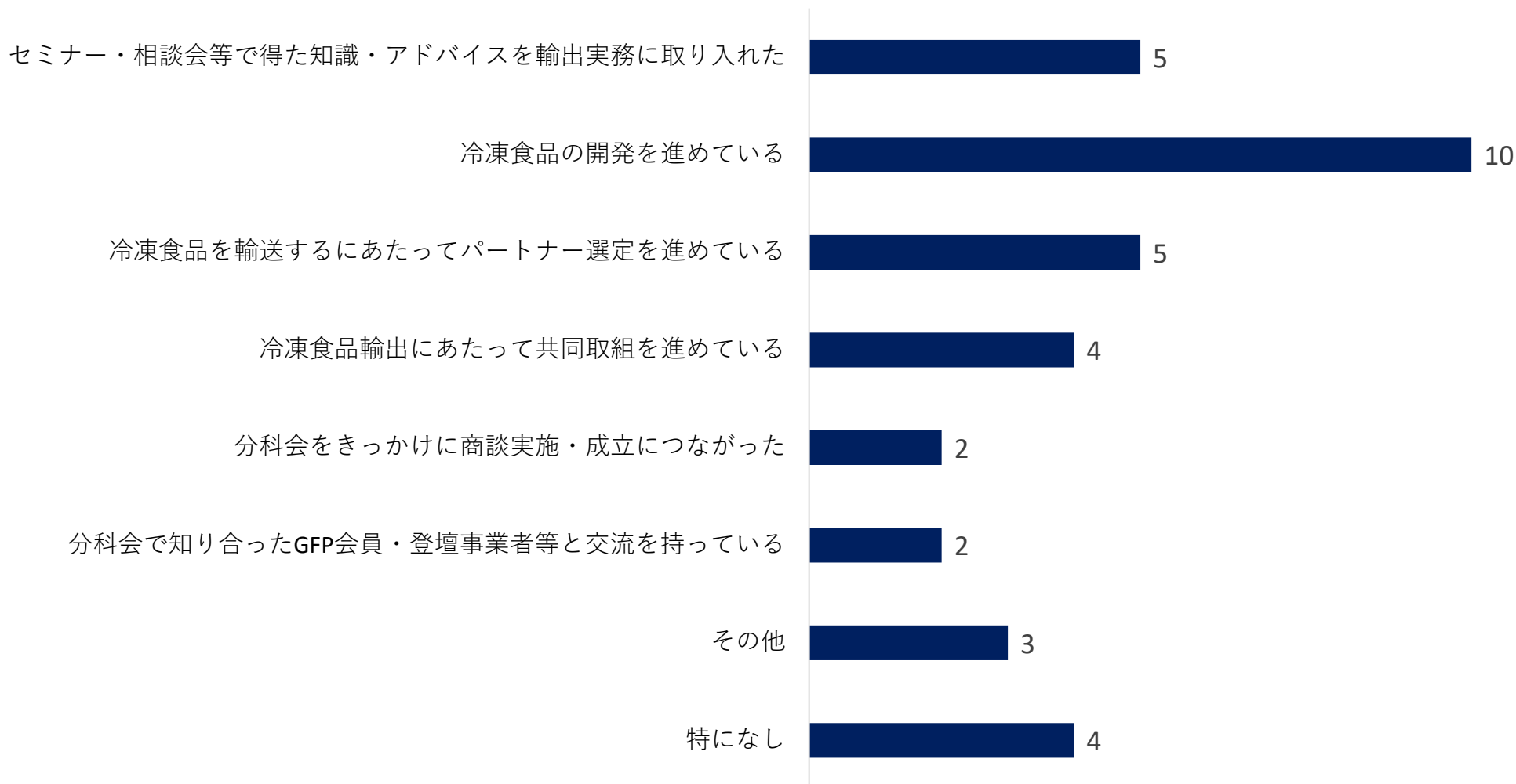
加工食品メーカー

- テスト販売など、冷凍食品加工メーカー（輸出者）と現地企業、国内企業とのマッチングの機会があれば利用させて頂きたい。

加工食品メーカー

イベントを踏まえた取組・イベント後の取組実績

イベント参加後、冷凍食品の開発を進めている事業者が多く、アドバイスを実行に移す事業者も多い。しかし、取り組みを行っていない事業者も16%存在。



イベント後の取組（1/4）

Q：イベント後の取組についての詳細をご記入ください。

- ・ 果物（シャインマスカット・いちご・りんご）の冷凍業者との情報交換

その他/加工食品販売

- ・ 新商品の開発に力を注いでいます。

加工食品メーカー

- ・ 実際に商談をしています。

加工食品メーカー

- ・ 輸出のためのノウハウを身につけるための各種情報を取り入れている。

物流事業者

イベント後の取組（2/4）

Q：イベント後の取組についての詳細をご記入ください。

- 研究の参考にしたい。

自治体等

- セミナーで得た知識を部内で共有した。

商社

- 商談会に参加し、現地（香港）での商談進捗待ちの状態

加工食品メーカー

- 冷凍食品の開発・流通に向けて具体的に取組んでいる。冷凍食品の開発継続中

商社

イベント後の取組（3/4）

Q：イベント後の取組についての詳細をご記入ください。

- 冷凍パン、常温食品、食材をアメリカに販売。現地のメディアと日本食、材料の料理なら仕方をメディア化し、販売

加工食品メーカー

- 東海輸出コンソーシアムを形成し、冷凍食品輸出に今後、力を入れていきたい。

商社

- 海外輸出を行っている国内商社と知り合うことが出来ました。現在のところまだ成約まで至っていませんが、継続して商談を行っているところです。

商社

- アメリカ向けの輸出を進めている。

加工食品メーカー

イベント後の取組（4/4）

Q：イベント後の取組についての詳細をご記入ください。

- ・ 商談会に臨んだが、まだ進捗なし

加工食品メーカー

- ・ 現在開発中です。

その他/加工食品販売

- ・ 社内において本件セミナーの情報を共有し、海外輸出国のレギュレーション対応の知見蓄積・ケータビリティの強化に繋げている。

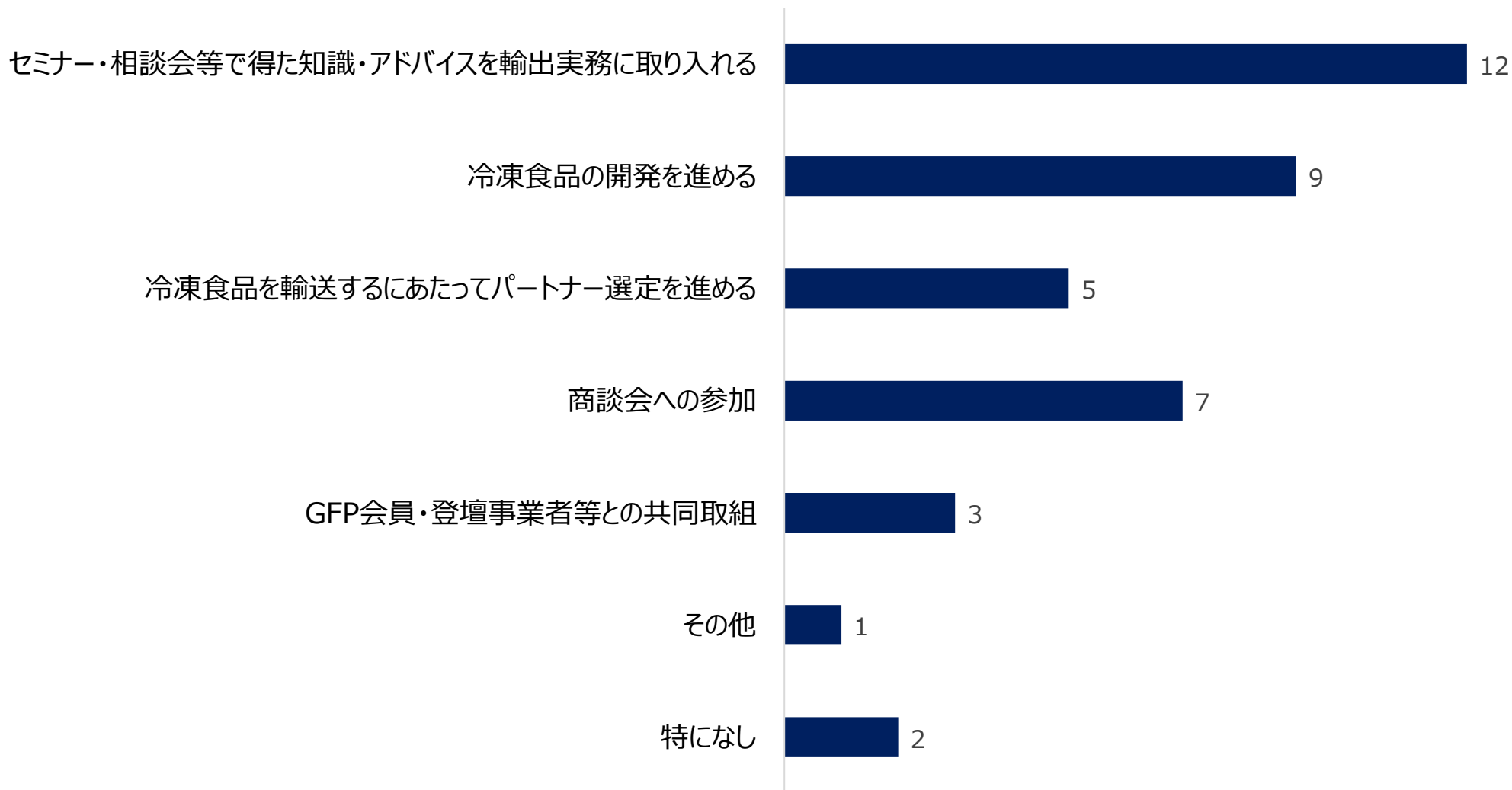
加工食品メーカー

- ・ 各企業と引き続き商談を進めている。

加工食品メーカー

イベントを踏まえた今後予定している取り組み内容・取り組み予定

イベント参加後、アドバイスの取り入れや冷凍食品開発を進める予定との回答が多い。
さらに、商談会へ参加意欲も7社から回答。



イベント後の取組についてのサポート（1/1）

Q：選択した項目について、具体的な内容/サポートを希望することがあればご記入ください。

- 冷凍果物等の輸出を研究中です。冷凍庫設備の基準等について助言を希望します。

その他/加工食品販売

- ゆで卵を冷凍したいが、技術的に難しい。何か方法があれば知りたい。

加工食品メーカー

- テスト販売など、冷凍食品加工メーカー（輸出者）と現地企業、国内企業とのマッチングの機会があれば利用させて頂きたい。

加工食品メーカー

GFP加工食品部会に期待すること（1/2）

Q：冷凍食品の輸出拡大に向けてGFP加工食品部会に期待することを教えてください。

- まだまだ知らないことばかりですので、情報提供・アドバイスをお願いしたい。

その他/加工食品販売

- 各国の規制や、海外のトレンドに則した商品であることを照明するための検査（グルテンフリー検査等）に適用するための検査費用の補助。

商社

- 海外輸出もさることながら、日本の離島にも減税物流を特区として行えることを期待します。

加工食品メーカー

- 各国に焦点に当てた説明がほしい。

加工食品メーカー

| GFP加工食品部会に期待すること（2/2）

Q：冷凍食品の輸出拡大に向けてGFP加工食品部会に期待することを教えてください。

- 商品輸出における留意点や特に北米における消費動向やニーズ、また、各種課題をタイムリーに共有いただきたいです。
- 北米における日本食やアジアンフードの消費状況や、北米におけるフリーフロム食品（プラントベースフード、アレルギーフリー、健康志向食品）の市場動向など。また、引き続きレギュレーションについての情報共有。

加工食品メーカー